

報道関係者各位

水田の水位・ハウスのモニタリング・制御システム farmo

スマート農業に特化した(株) farmo は

## 【ソーシャル水管理】 実証実験をスタートします

2005年11月1日に栃木県宇都宮市で発足したITベンチャー企業、株式会社 farmo はあらゆるモノがネットにつながる「IoT」を活用し、日本の農業をサポートする画期的な製品「farmo(ファーム)」を開発、栃木から日本全国展開中です。farmo は今年も農家さんをサポートする新しいチャレンジを進めて参ります。

### ソーシャル水管理とは

☞ 農業を営む方の高齢化により、田んぼの水回りができない地域が増え、耕作放棄地へとつながっています。このような地域にスマート農業の導入を検討しても、スマートフォンの使い方など、ハードルも高いことから離農する農家さんも増えています。(株) farmo ではコメ農家の大きな課題である田んぼの水回りを、農家さんとともに farmo スタッフがサポートするサービスを実証実験としてスタートします。

実証実験が行われるのは、200枚以上の田んぼを持つ、栃木県日光市の日光 八木澤ファーム。自然豊かな日光市で先人が切り開いた棚田で米作りをしています。棚田は生産効率が良くないため、管理が難しく、全国でも耕作放棄地が増えています。しかし、美しい景観や、水源に近く米がゆっくり熟成するためおいしい米が収穫できることから、先人たちが守ってきた棚田にこだわり、米づくりを行っています。代々家族で農業に従事する日光八木澤ファームは日本の農業の縮図であり、農業の課題解決に取り組む(株) farmo にとって、チャレンジングな実証実験となります。#日光八木澤ファーム <https://yagisawafarm.jp/>

#### ☞実証実験

farmo スタッフが農家さんとともに、水管理を行います。水田 farmo、給水ゲートの設置、スマートフォンでの水管理、水位情報などは FAX 送信サービスなども行います。中山間地域をカバーできるよう、圃場内にアンテナを設置し、地域の皆様にも farmo のサービスを楽しんでいただけるようにいたします。期間は5月中旬から秋の稲刈りシーズンまで。

#### ☞目標

米作りは農家さんだけが管理するのではなく、地域でカバーできるようなソーシャル水管理を目指します。I T弱者のご高齢の方が離れた地域に住んでいるご家族、地域の皆さま、私共 farmo のスタッフとともに、ラク、に管理できるよう、農業の省力化を目指し取り組みます。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 farmo(ファーム) <https://farmo.co.jp/> 広報・営業 田中 貴也・小平真李

〒320-0855 栃木県宇都宮市上欠町 866-1

TEL028-649-1740 C 携帯 : 070-4481-7081(田中) tanaka@farmo.co.jp

kodaira@farmo.co.jp